

事例8

< 事例概要 >

処方時に間違いがあり過量投与に至った

リウマトレックスカプセル 2 mg（メトトレキサート）：免疫抑制薬

・ 80 歳代、脳梗塞、肺炎、関節リウマチ

・ 入院前より週 1 回リウマトレックスカプセル 4 mg を服用中。持参薬にリウマトレックスがなかった。継続処方する際、脳神経外科医師はリウマトレックスを休薬期間が必要な薬剤であると認識しておらず、1 日目 4 mg、2 日目 4 mg、3 日目 2 mg と連日処方した。休日で薬剤師は一人体制であったため処方監査・薬剤鑑査を同一者が行い、指示通り調剤し、看護師は連日投与した。

・ 投与開始 3 日後、肺炎が増悪し処方間違いが判明。一時回復したが、約 4 週間後死亡。

・ 死因は、肺炎の増悪。死亡時画像診断（Ai）有、解剖無。